

第23回 ちゅうでん教育振興助成（2023年度）

小・中学校の部 報告書資料

学校名・団体名	柏市立土小学校
コース	学校支援コース
活動・研究のテーマ	地域と共に創る探究的な学びのカリキュラム開発

1. 研究の目的

本校では、2022年度から、「真正の学び(オーセンティック・ラーニング)」を研究主題として、取り組んでいる。2022年度反省として、生活科・総合的な学習の時間がより地域と結びついた学習とならなければ、真正の学びと言えないのではないかと考えた。そこで、地域と共に創る探究的な学びのカリキュラム開発を目的とした研究を進めることとした。

2. 活動時期

令和5年4月～令和6年2月

3. 活動内容

<1年生 生活科「土っ子ランドを開こう」>

1年生が生活科の活動にて、体験した昔遊びや公園探検で感じたもの、校外学習で行った動物園のことを遊びやクイズにし、地域の人や来年土小学校に入る幼稚園や保育園の園児に体験してもらってテーマパークを開いた。



<2年生 生活科「町のステキを見つけよう」>

生活科の町探検で見つけた町のステキを動画やポスターにし、町のステキなところを再発見する活動を行った。この活動では、CMやポスターを作成し、地域の魅力を伝えた。



<3年生 総合「昔道具博物館を広めよう」>

土小学校にある昔の道具博物館にある道具について、一人一人が調べ、プレゼンテーションを作成し、地域の人や近隣の学校に広めていく活動を行った。



< 4年生 総合「SMGs～土小学校の安全は僕たちが守る～」>

地域の交通安全や防災を考えるために子供達が地域を探索し、危険箇所を見つけ、安全防災マップにまとめていく。子どもたちが作ったマップは、本校 HP からみることができるようになっている。



< 5年生 総合「知産知消」>

土地の第一次産業である農業をテーマとし、地域の農家の方とともに課題解決を目指した。無人販売所のために、看板を設置したり、自分たちで農作物を作って販売してみたりする活動を行った。



< 6年生総合「土小観光協会」>

柏市観光協会と連携し、土地の魅力を広めていく活動を行った。この活動では、地域にある昔話を広めていく活動や地域の歴史的な場所を巡るツアーを企画した。参加者には、土商観光協会認定シールを配布した。



4. 成果と課題

成果（子どもたちや地域への効果）

地域と共に創る探究的な学びのカリキュラム開発という研究テーマのもと、1年間活動を行ってきた。その結果、各学年での地域と連携した生活科・総合的な学習の時間における取り組みにより、地域との密度が濃いものになった。日々の授業の中で、子どもたちも地域のため、地域の課題のためにという目的意識が自然と生まれていた。また、6月と2月に実施した「土サミット・教育ミニ集会」において、地域の方々を学校に招き、各学年の授業を共に創る場や次年度のカリキュラムを考える場を設け、機能していることが成果につながっている。

課題

地域と共に創る学びのカリキュラムの軸となる「土サミット、ミニ集会」に約70名近い地域の方々の参加をいただいた。今後は、保護者の多くも巻き込んで授業を創る場として機能させていく事が今後の課題になると考える。このことにより、教師主導のカリキュラムから、地域の中にあるカリキュラムに考え方をシフトしていき、教師が変わっても活動が継続できる仕組みに変化していくと考える。

また、学びの場作りも重要になると考える。例えば、今回視察に行った、瀬戸 SOLAN 小学校のように、探究的な学びが生まれる空間を学校の中心とした教育環境の整備や保護者との連携を目指した支援体制の確立などを参考に、子どもの学びの場作りも同時にしてく校内の学びの空間、学びに向かう環境づくりを検討して必要があると考える。